

綴吏部負排不向願ハ其後双方共認解成リ平塚五三郎
外五名ハ爭議国本部ニ會同シ同一行動ヲ執リ居レリ
一方篠友国体ナル高田綿糸工支部長、瀨野熊五郎ハ
會社ノ反有ヲ厭スヘキ吏部ノ決議文ヲ査ラシ、淺見工
場長ニシテ手交シタルガ工場長ヨリ「會社側ニ於テハ
讓歩ノ余地ナキニ付キ、役員兼負ニ於テ熟考反有ノ後宗
宗奈項ヲ改造セバ再ビ重役會議ヲ開キ、會議ヲ爲スベ
シト」同答ヲ爲シタリ其後爭議国ハ「東京珠布罷業に
際シテ高田町民諸君に聲明寸ト願スル印刷物ヲ作成
シタルニ十三日高田町一内ニ配布シ又幹部小松原光
太郎外一名ハ會社ヨリ發送セル解雇通知書ヲ一括シ
テ去ルニ十四日工場長ニ返戻シ會社ノ反有ヲ促シタ
リ

而シテ同日爭議国警備員峯尾又一外二名ハ臨時雇女
工一名ノ入場ヲ阻止セントシ過激ノ言動アリタルヲ
以テ峯尾ヲ所轄高田警察署ニ一時檢束セル外格別ノ
行動ナシ

會社側ノ態度

會社ハ、殊業整理ニ名ヲ藉リ、役員兼職十名ノ外、五名
(或職ノ兼任)ヲ雇入レ作業ヲ繼續シ居ルヲ以テ態度頗
ル強硬ナリ

以上ノ状況ニシテ今後ノ行動引續キ注意警戒中

石又申(通)報候也